

東日本大震災、あの日あなたは
どうやって子どもたちを守りましたか？
11人の保育者が語る震災体験

目次



Part 1 放射能問題が深刻化するなかで……3

福島

- こだわってこだわって新築したばかりの園舎に、
放射能が降った(福島県福島市)……4
- 「国が大丈夫って言うなら、大丈夫」と、
外遊びも遊具遊びもさせていた(福島県須賀川市)……13
- 公立園38カ所中10カ所の園が閉鎖。
4月、5月は、変則的な保育に現場は大混乱(福島県いわき市)……18

Part 2 震災から保育再開まで……23

東北

- 津波に追われ、子どもたちと一緒に上へ上へと逃げた。
園舎は一瞬のうちに流された(岩手県大船渡市)……24
- 避難していた体育館に水とがれきが流れ込み、
子どもを抱いたまま水の中で耐えた(宮城県東松島市)……31
- 地震発生から津波が来るまで30分。
「けっこう時間があった感じがした」(宮城県石巻市)……40
- 子どもに怖い気持ちを残したくなくて、
「今日はキャンプごっこだよ」と(宮城県石巻市)……43

Part 3 交通や電話がストップしたなかで……49

東京

- 放送で職員と園児を励まし続けた。
お迎えの遅い子と保育園に宿泊(東京都目黒区)……50
- センターに遊びに来ていた母子とともに避難。
避難先で、一緒に父の帰りを待った(東京都江東区)……54

Part 4 震災5ヵ月後 復興に向けて……59

再び東北

- プールに運動会、散歩、
少しずつ落ち着きを取り戻して(宮城県石巻市)……60
- 震災をきっかけに、
改めて子どもの未来を考え直した(宮城県仙台市)……64